

舞鶴市議会 総務消防委員会 活動報告

- 佐賀県鳥栖市における取組の調査
- 熊本県八代市における取組の調査
- 熊本県荒尾市における取組の調査

総務消防委員会調査視察

実施日：令和6年5月7日～9日

視察の目的

本市においては、消防団員の確保、地域防災力の向上に課題が生じていることから、消防団員の募集について効果的な広報に取り組んでいる鳥栖市と、楽しみながら防災について学べるイベントなどで地域防災力の向上に取り組んでいる荒尾市の事例を調査することとした。

また、人口減少に伴う税収の減少により、将来の財政運営に課題が生じていることから、持続可能な財政基盤を確立するために中期財政計画を策定している八代市の事例を調査することとした。

「総務消防委員会の令和6年の重点事項」

- (1) 災害に強い消防体制づくりに関する調査・研究
- (2) 地域防災力の強化・向上に関する調査・研究
- (3) 持続可能な財政運営に関する調査・研究

舞鶴市議会のホームページに視察報告書を掲載していますので、ご覧ください。



視察先及び日程

日 程		視察先	調査事項
令和6年5月7日(火)	14時30分～16時00分	佐賀県鳥栖市	消防団の充実強化について
令和6年5月8日(水)	13時00分～14時30分	熊本県八代市	持続可能な財政運営について
令和6年5月9日(木)	9時15分～10時45分	熊本県荒尾市	地域防災力の向上について

総務消防委員会調査視察

実施日：令和6年5月7日～9日

【佐賀県鳥栖市】調査事項：消防団の充実強化の取組について

《鳥栖市の取組の概要》

- ◇ 消防団に対する住民認知度を高め、消防団の活動が次世代に継承できるように取り組まれていた。
- ◇ 消防団の認知度を把握するためのアンケートを実施。その結果を基に女性消防団員の活躍や現役消防団員の生の声を届けるチラシを作成されていた。
- ◇ 若い層にも消防団の活動に興味を持ってもらうため、キッズ消防団員による広報活動を展開されていた。



消防団員募集のチラシ

《委員の所感》

- アンケートを実施して今後の広報活動の資料とすることで、市民の消防団に対する認知度に合わせた双方向の広報が可能となった。
- 消防団の活動や福利厚生、消防団のやりがいなどについて発信するとともに、新たなコミュニティづくりのきっかけとして消防団への入団を促している。
- 子育て世帯が消防団に興味や関心を持つことは、20代から30代の若い団員の確保につながるとともに、その子どもも親の活動を見て育つため、将来の担い手として消防団活動の継承が可能となる。



鳥栖市職員から説明を受ける

総務消防委員会調査視察

実施日：令和6年5月7日～9日

【熊本県八代市】調査事項：持続可能な財政運営について

《八代市の取組の概要》

- ◇ 前年度までの決算を踏まえ、将来の収支状況などを明らかにし、持続可能な財政基盤を確立するための目安として中期財政計画を策定されていた。
- ◇ 将来の予算編成を拘束するものではなく、行財政改革の取組、新たな財政需要の動向などを注視しながら、必要があれば計画の見直しをされていた。
- ◇ 中期財政計画と翌年度の予算編成方針をホームページに掲載されるとともに、議会において、そのポイントを議員に説明されている。



八代市職員から説明を受ける

八代市中期財政計画令和5年度～令和12年度
(2023～2030)

令和5年10月 財務部 財政課



くまもと国際空港八代完成式典



災害公営住宅（熊本県）

《委員の所感》

- 財政状況の変化を注視し、必要があれば財政計画の見直しを行うとして、柔軟な財政運営の基本姿勢を明らかにしている。
- 大規模な自然災害に見舞われても対応できるよう普段から財源確保に努めておくこと、健全経営がいかに重要であるか痛感した。
- 財政計画の制定・公表は、様々な施策を執行する上での重要な指標となる。

実施日：令和6年5月7日～9日

- 防災を自分ごととして考えるきっかけとなる参加型の実践的な出前講座を通じて、市民の防災意識や知識が向上した点は学ぶべきである。
- 防災士の資格取得に必要な経済的負担を軽減するとともに、養成講座にも参加しやすいよう近隣市と共同で開催することなどにより、年々防災士の資格者が増えてきている。
- 各自主防災組織を横断的につなぎ、連携が図れるようにしている。総務省消防庁の補助を活用すれば財政的にも負担のない取組であり、本市でも取り入れたい。などの所感がありました。